

「お客様の声を活かした取り組み55事例」と 「わかりやすい表示の研究」について

東京会員の高野逸子さんと関西支部会員の川口徳子さんが消費者講座で発表しました。

日時:平成26年5月19日(月) 午後1時半～3時

場所:前橋テルサ つつじの間

参加者:一般市民61名

主催者:前橋市・前橋市消費生活啓発委員の会

●「お客様の声を活かした取り組み55事例」より学ぶ

ヒープ協議会作成の冊子を元に説明、お客さまの声によって改善された各企業の商品等の紹介やヒープ協議会の表示に関する研究内容を報告。消費者と行政と企業の相互理解を深めるために取り組んでいることを紹介した。

●ディスカッション「価格と表示、あなたの行動は？」

買い物での事例をテーマに、①価格表示が理解できるか？②どのような行動をとるか？③誰かに相談するか？でグループディスカッションを行い発表してもらった。疑問に思った時には、周りの人に問いかけたり、企業や消費生活センター等に相談をして、自身が“賢い消費者”になることが、消費者市民社会の実現につながることを理解していただいた。



☆いただいた感想の中から数点ご紹介☆

- ・消費者と企業のコミュニケーションをどうするかは大事なことだと思います。小さな声を大切にして取り組んで欲しいと願い、気が付いたことに声をあげていきたいと思います。
- ・普段の生活の中で、意識して買ったり、見たりする賢い消費者になろうと思いました。